

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	炭素収支と資源利用小委員会		主 査 名：漆崎 昇 就任年月：2011 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会		委員長名：小玉祐一郎
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・炭素収支という視点を盛り込んだ各種建材のマテリアルフローを更新する。 ・炭素固定継続時間を評価した地球温暖化防止効果に対する基本的な指標・考え方を提案する。 ・炭素収支という視点から、地球温暖化対策を実現するための資源利用のあり方に関する提言を取りまとめる。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有り		
	漆崎 昇 (大林組)、田村雅紀 (工学院大学)、外崎真理雄 (森林総合研究所)、石川嘉崇 (電源開発)、古賀純子 (建築研究所)、小林 均 (エックス都市研究所)、恒次祐子 (森林総合研究所)、中島史郎 (建築研究所)、中島裕輔 (工学院大学)、野口貴文 (東京大学)、藤田正則 (山口大学)、山畑信博 (東北芸術工科大学)、吉田倬郎 (工学院大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	炭素収支データ作成 WG マテリアルフローを作成した建材の生産に関する CO2 排出量、建材として固定している炭素量、耐久性など、炭素収支を計算する上で必要なデータを収集する。		
2011 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 炭素収支と資源利用小委員会成果報告会 — 建築資材の炭素収支を考慮したマテリアルフローと資源利用の課題— (資料名：同上) 参加者数 40 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 木材の炭素収支を盛り込んだ各種建材のマテリアルフローは未整理 2. 2050 年に向けた資源循環のあり方について整理
委員会活動の問題点・課題	特になし